

FORBRAIN[®]



Sound For Life Ltd. © 2021 版權所有



学習ガイド



フォーブレインのご紹介

フォーブレインは、声を活用することで、発話、注意力、記憶力の向上をはかり、学習やコミュニケーションのスキル習得を支えます。



パンフレットを以下の言語でダウンロードするにはQRコードを読み取ってください：

Français, Español, Polski, Deutsch, 한국어, 日本語, 中文版, русский, Türkçe



www.forbrain.com



info@forbrain.com



使い方のご提案

フォープレインがあれば、あとは声に出して読むだけです。
エクササイズをいくつかご用意しましたが、ご自由にご自分専用のエクササイズをお作りください。

おとな

音楽性：文章をメロディにのせて歌いあげます。

リズム：詩を、各行末でプレスしながら読みます。

流れ：意味や句読点に関係なく、3~4語ごとにプレスしながら文章を音読します。

演説風：大勢の人々に向かって演説するように、言葉の音を誇張して文章を音読します。

めりはり：声の大きさを5秒ごとに小声から大声へ、逆に大声から小声へと変えながら文章を音読します。

暗誦：文章を音読し、何も見ないですぐに繰り返します。

ダイアログ：漫画や対話の登場人物ひとりひとりを独特な声にして読みます。



お子さま

いっしょ読み：子どもと一緒に文章をゆっくり読む。子どもが間違えたり戸惑ったりしてもそこで止めません。

こだま：大人の音読に約1秒遅れて子どもが追いかけます。大人は速く読んだり、ゆっくり読んだりします。

暗誦：子どもが何も見なくてもすぐに繰り返すことができるような、一群の単語、文、または詩を読みます。

ダイアログ：漫画や会話を、登場人物の役を交代しながら、声の違いを強調して読みます。

発明：子どもと一緒に、画像や人形を使ってお話を作ります。交代で台詞を考えます。



最適な姿勢



おとな

5

頭: 頭は、背骨のてっぺんに、リラックスして自然に乗っているようにします。
まるで操り人形の糸で吊られているかのように。

4

唇: 唇をすぼめて前に出します。ただし、首は前に突き出しません。まるでマイクに唇で触れるかのように。

2

背中: 背筋を伸ばして座ります。前かがみになったり腰を反らせたりしないように。まるでカンガルーの尻尾がついていて、その上に腰かけているかのように。

3

腹: 横隔膜をしっかり使い、お腹が穏やかに凹んだり膨らんだりするのにまかせて、静かに呼吸します。寄せては返す海の波のように。

1

足: 両足を腰幅ほど開いて床につけます。地に根を下ろしたかのように。



コツ: フォーブレインは立ったままでも、歩きながらでも使えます。特に文章を記憶したいときにおすすめです。時折、身体力を抜くのを忘れずに。



最適な姿勢

子ども

子どもは、木になったつもりで想像します。両足は地中に伸びる根、背中は真っ直ぐ立ち上がる幹、頭は葉というふうに。

大人は降り注ぐ雨のしぐさをします。
この子が大きく育つよう.....



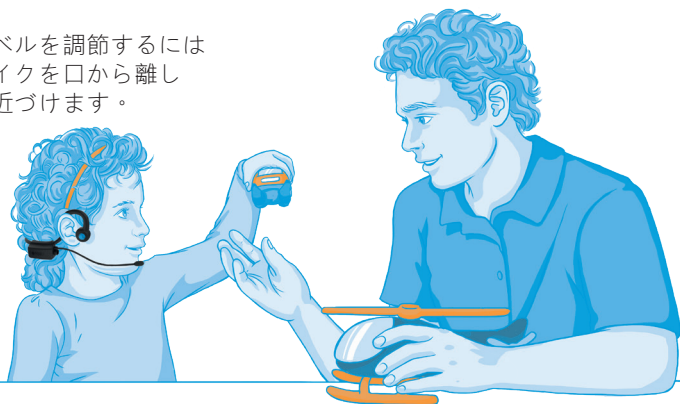


フォーブレインを子どもたちと使い始めるには

子どもたちはフォーブレインを歓迎します。見た目も格好よく、なんだかステージ上のロックスター、操縦室のパイロットになった気分です。

ここでは、親御さんや療法士から寄せられたヒントをご紹介します。

1. フォーブレインを初めて使うときは、まず大人の方がフォーブレインを装着し、つけ方や位置の手本を見せ、説明します。
2. フォーブレインの電源を入れ、お子さんに持たせます。お子さんは骨伝導の振動を感じ、いろいろ試すことができます。
3. お子さんが自分で着けるようにします。手近なところに鏡を用意しておき、お子さんが自分の姿を眺められるようにします。毎度かっこいい！と自分で思うはずですから。
4. お子さんが「フォーブレイン」を拒むときは、お気に入りのおもちゃや好きな物を手に持たせて気を紛らわせているうちに、大人の方が着けてあげてもよいでしょう。
5. 音量レベルを調節するには、まずマイクを口から離し、徐々に近づけます。



それでも嫌がる場合は、大人の方がしばらく着けて過ごすすと、子どもは気が楽になり、好奇心に火がつくかもしれません。



プロトコルとプログラムのご提案

フォーブレインは、毎日、繰り返して使える脳トレーニングのツールです。ニーズに合わせて使うことができます。6~8週間毎日使い、1ヶ月休んでから、再び繰り返し使うことをお勧めします。

次のプロトコルを皆さまやお子さまの感覚合わせて適度に調整しつつ実践することをお勧めします。1時間以上の連続使用は避け、途中で休憩してください。

幼児：3~6歳

1日につき10分を1回

フォーブレインでは、次のようなアクティビティを提案しています。相互のやりとり、コミュニケーション、言語発達を促進するもの：フラッシュカード、ロールプレイ、ボードゲーム、歌など。

学童：6-9歳

1日につき15分を1回

フォーブレインを着けて教科書やマンガを声に出して読む：ひとりでも親御さんと一緒でもできる素晴らしいアクティビティです。

ティーン：9-18歳

1日につき20分を1-2回

フォーブレインを使いながら、強化の学習をすすめたり、宿題をしたりします。フォーブレインは1日2回、20分程度の使うことができます、各回の間に休憩を入れます。

大学生

1日につき20分を1-3回

テスト準備、授業教材の研究、外国語の実習、ディベート、歌唱などをフォーブレインを使いながら行うことができます。集中的にトレーニングしたい場合は、フォーブレインを20分、1日3回使います。各回の間に休憩を入れます。

プロフェッショナル

1日につき20分を1-3回

フォーブレインを使ってサイトリーディングを練習します。またオーディションやプレゼン、就職面接の前に、発音、ディクッション、音色の改善に取り組むこともできます。集中して使う場合、フォーブレインを20分間、1日3回使うこともできます。各回の間に休憩を入れます。

高齢者

1日につき20分を1-3回

フォーブレインを使って、本や新聞を音読します。詩を暗誦したり、ご家族やお友達と話したりします。集中して使う場合、フォーブレインを20分間、1日3回使うこともできます。各回の間に休憩を入れます。

療法士のもとで


フォーブレインを使うのは、療法セッションの最中でも、セッションとセッションの間にご自宅でも結構です。



耳声ループ

フォーブレインは、声に対する知覚を高めることを通して、耳声ループのあらゆる面に同時に作用します。

フォーブレインは神経系に感覚を通じ着実なトレーニングを課します。



あなたの声は、特殊なフィルターで処理されると同時に骨伝導を介して伝送されます。



はじめに

フォーブレインの電源を入れるには
オン/オフボタンを押します。

1



ON/OFF

フープが頭の後ろ、首の上に来るようにし
ます。

2



イヤホンは耳の前にある骨にあてます。

3



マイクを口から3cmほど、やや右寄りのとこ
ろに調整します。

4



マイク音量は初期設定で最適に使えるようにしてあります。変更しないようお勧め
します。聴力がひどく落ちている、または聴覚過敏になっている場合にのみ、音
量を変更してください。OFFを押すと音量は初期設定に戻ります。



フォーブレインのマイクに向かって普段どおりに話します。

大きすぎる声でも、小さすぎる声でもなく、誰かに話しかけるようにします。



オプションによる補完機能

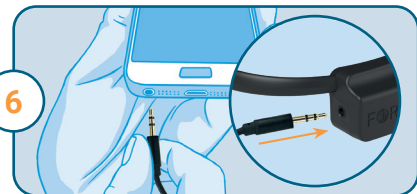
保護者または専門家の支援を受けながらフォーブレインを使うには：

保護者や専門家の支援を受けながらフォーブレインを使うには、追加マイクを使います。追加マイクは手で持ち、口から5cm離します。
指導者の声も処理されます。



外部音源でフォーブレインを使うには

フォーブレインのヘッドフォンを音源に接続して、練習問題やオンラインセッションを行います。
なお、音源の音は増幅されますが、処理されません。



セカンダリマイク

フォーブレインのセカンダリマイク機能は、フォーブレインのユーザーと指導者のやり取りを容易にし、つながりを深めます。指導者は、保護者のこともあれば、教員、療法士や発声や歌唱のコーチということもあるでしょう。フォーブレインのユーザーが指導者の声に注意を向けられるようにします。この機能は様々な使い方ができます。ご自身に一番合う使い方を考案しましょう。

例をいくつかご紹介します。
セカンダリマイクの使い方

保護者および教員と共に

保護者は子どもの宿題を手伝えます。このマイクを使うと会話に集中し続けられるためです。また、読解や発音の課題を支え、対話を促すこともできます。

療法士とともに

このマイクは、はじめはユーザー本人が言葉をお話さない、あるいは話したがらないとしても、このマイクは聴き手の心身全体を刺激します。

療法士は、セカンダリマイクを使うことで、ユーザーとより良い関係を築き、ユーザーが骨伝導とフィルターの感じに慣れるよう支えることもできます。



発声・歌唱コーチとともに

療法士が話し方や反復のエクササイズを提案してもよいでしょう。ユーザーとのコミュニケーションを円滑にする方法のひとつとしてマイクを使ってもよいでしょう。

発声・歌唱コーチの方は、クライアントと一緒に話したり、歌ったりしてもよいでしょう。

反復させてもよいでしょう。
セカンダリマイクで楽器の音をキャプチャし、学習者の発話のリズムと音楽性を統合するのに役立てることもできます。

音源に接続する

オンライン講座のレッスン

- フォーブレインをコンピュータに接続すれば、オンラインコースに沿って聞いたり話したりしながら、フォーブレインを最大限に活かすことができます。

録音：

- フォーブレインをスマホやコンピューターで録音した自作の音源に接続することができます。例えば、レッスンやスピーチの練習中に使用します。
- 療法士、教員、保護者の方は、便利に練習できるよう、専用の音声コンテンツ（単語や表現のリスト、レッスンなど）を用意してもよいでしょう。
- 発音や表現の向上に特化したアプリ（スピーチアプリ、外国語アプリなど）とフォーブレインを接続することもできます。

